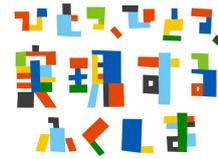


主要な農作物の生育情報

令和3年度 第4号

(令和3年7月8日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水 稲

6月29日現在の農業総合センターの作柄解析試験コシヒカリの生育調査によると、各調査場所ともに草丈は平年より長く、茎数は本部、会津地域が平年並、浜地域が少なく、葉色は、本部が濃く、会津地域、浜地域が平年並となっています。主幹出葉からみた生育は、本部と浜地域では6日早く、会津では4日早くなっています。

表1 水稲の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月29日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD502値)
本 部	コシヒカリ	5.14	53.0 (119%)	684(99%)	9.8 (+0.3)	35.4 (+3.3)
	ひとめぼれ	5.14	50.2 (118%)	645(94%)	9.7 (+0.2)	37.9 (-2.7)
	天のつぶ	5.14	53.8 (120%)	539(89%)	9.3 (+0.2)	39.0 (-2.6)
会津地域	コシヒカリ	5.20	52.6 (107%)	702(101%)	10.3 (+0.5)	39.5 (-0.6)
	ひとめぼれ	5.20	50.6 (105%)	681(90%)	10.1 (+0.2)	43.6 (+0.1)
	天のつぶ	5.20	52.9 (105%)	631(95%)	9.6 (+0.2)	44.1 (-0.5)
浜 地 域	コシヒカリ	5.10	56.5 (105%)	655(84%)	9.9 (+0.5)	38.0 (-0.6)
	ひとめぼれ	5.10	58.2 (107%)	724(89%)	9.9 (+0.3)	42.7 (1.0)
	天のつぶ	5.10	58.5 (106%)	632(87%)	9.3 (+0.2)	43.8 (0.7)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域が会津坂下町、浜地域が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2016~2020年の平均値)との比較を表し、草丈、茎数は前5年平均に対する比率、主稈葉数、葉色は、前5年平均との差を表す。

2 大 豆

農業総合センターの作柄解析試験では、標播、晩播ともに、出芽は良好です。

表2 大豆の生育状況

調査場所	品 種	播種 時期	播種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	標播	6. 1 (+1)	6. 8 (-5)	7 (-6)
		晩播	6.18 (-1)	6.23 (-4)	5 (-2)
会津地域	あやこがね	標播	6. 1 (+1)	6. 9 (-1)	8 (-2)
		晩播	6.21 (+1)	6.27 (+1)	6 (±0)
浜 地 域	タチナガハ	標播	6.10 (+1)	6.17 (-2)	7 (-3)
		晩播	6.25 (+1)	7. 3 (+3)	8 (+2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域が会津坂下町、浜地域が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2016~2020年の平均値)との差を表す。本部のタチナガハ晩播の括弧内の数字は、ラウンドにより一致しない。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県北地方の5月上旬定植の雨よけ栽培では、収穫のピークを迎えており、5月下旬定植の露地栽培では、乾燥により一部で芯焼けが発生しています。また、県中地方の5月下旬定植の露地栽培では、親づるの摘芯を行っており、収穫は6月中旬から始まっています。降霜があったほ場では、現在草勢の回復に努めています。

病害について、アザミウマ類の発生がやや増加傾向となっており、防除に努めています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、6月上旬から収穫が始まり、現在6～7段花房が開花しています。また、南会津地方の5月下旬定植の作型では、3段花房が着果しており、収穫開始は7月中旬を見込んでいます。

3 さやいんげん

県中地方、会津地方の露地栽培では、6月下旬から収穫が始まりました。着莢は安定しており、7月以降出荷量が増加する見込みです。

4 夏秋ピーマン

県中地方のトンネル栽培では、6月中旬から収穫が始まっています。降霜による被害があったものの、草勢の維持を図り、7月上旬から収穫が始まる見込みです。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所における7月1日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が55.4mmで平年比114%、側径が56.9mmで平年比120%、「ゆうぞら」は縦径が51.6mmで平年比108%、側径が47.7mmで平年比114%と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「あかつき」は小さく、「ゆうぞら」は平年並となっています。

DVRモデルによる「あかつき」の発育予測では、今後の気温が平年並に推移した場合、収穫開始日は7月24日頃、収穫盛期日は7月27日頃で平年より7～8日早い見込みです。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が37.9mmで平年比112%、横径が45.9mmで平年比114%、「豊水」は縦径41.0mmで平年比116%、横径が44.9mmで平年比118%と、両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年並です。

DVRモデルによる「幸水」の発育予測では、裂果期は7月2日頃で平年より12日早い見込みです。また、収穫盛期の予測は8月20日頃で平年より9日早い見込みです。

3 りんご

暦日で比較すると、「つがる」は縦径が58.1mmで平年比114%、横径が64.5mmで平年比113%、「ふじ」は縦径が50.9mmで平年比112%、横径が56.5mmで平年比117%と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年並です。

【花き】

1 キク類

8月咲きは、6月の降雨が少なかったことから、草丈がやや短くなっています。9月咲きの生育は平年並です。

病害は白さび病、害虫はアブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガの発生が散見されています。

2 リンドウ

極早生品種は、6月上旬から出荷が始まり、平年より1週間程度早くなっています。早生から中晩生種は、草丈は平年並からやや長く、節数は平年並からやや多くなっており、生育は順調です。

病害は葉枯病、黒斑病、褐斑病、虫害はリンドウホソハマキ、アザミウマ類の発生が散見されています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草の収穫作業が終了し、収量・品質ともに平年並です。2番草は、再生期から出穂期にあり、平年並の生育です。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>